

2024年3月7日

太陽光をコントロールする素材「SOLAMENT」が 世界最大規模のテクノロジーの祭典「SXSW2024」に出展

アップサイクルブランドとコラボレーションした帽子など、次世代のアパレルプロトタイプを複数展示

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、現地時間3月10日から3月13日まで、アメリカ合衆国テキサス州オースティンで開催され、数十万人が参加する世界最大規模のテクノロジーの祭典「SXSW」（サウス・バイ・サウスウエスト）に、太陽光をコントロールする素材テクノロジー「SOLAMENT®」（ソラメント）を出展することをお知らせします。

SOLAMENTは、住友金属鉱山が国内外に特許を持つ近赤外線吸収ナノ微粒子を使った素材テクノロジーです。太陽光などに含まれる近赤外線を吸収し熱に変える機能を活かし、アパレルや農業分野などへの市場進出を強化しています。このたびのSXSWでは、より広くSOLAMENTの価値を伝えるため、帽子やスカーフなど新たなプロトタイプを展示するとともに、SOLAMENTの効果を実感できる体験ブースを設けます。

SXSW 住友金属鉱山出展概要ページ：<https://schedule.sxsw.com/2024/exhibitors/4783>

SXSW 公式ウェブサイト：<https://www.sxsw.com/>

SXSWでは、3つのプロトタイプを展示します。

1つ目は、「SHADE-LESS SUN HAT」。SOLAMENTが
つばの部分の生地に塗布され、5℃から10℃の遮熱効果を見
込めるハットです。アップサイクルブランド「PLASTICITY」とのコラ
ボレーションにより、廃棄されたビニール傘を再利用した生地で作
られています。



2つ目のプロトタイプは、「BULK-LESS SOLAR SCARF」。
農業用ネットの素材に SOLAMENT を組み合わせ、薄いのに暖
かいスカーフを実現しました。



3つ目は、「DOWN-LESS DOWN JACKET」。羽毛を一切使用しない空洞なダウンジャケットで、SOLAMENT を生地 に塗布することにより、生地自体が発熱し、見た目からは想像できない暖かさを生みます。2023 年秋に東京で開催された Japan Mobility Show で SOLAMENT ブランドの第一弾プロトタイプとして制作され、海外での出展は初めてです。



SOLAMENT は、素材の価値を高めるだけでなく、それまで必要であった素材や材料の省略を可能にし、サプライチェーン全体の材料効率の見直しにもつながります。今回の SXSW の展示も、通常はアパレルに使われない素材を組み合わせ、新しい可能性を提示することで、サステナブルな素材活用のあり方を考えるきっかけづくりを目指します。

(参考)

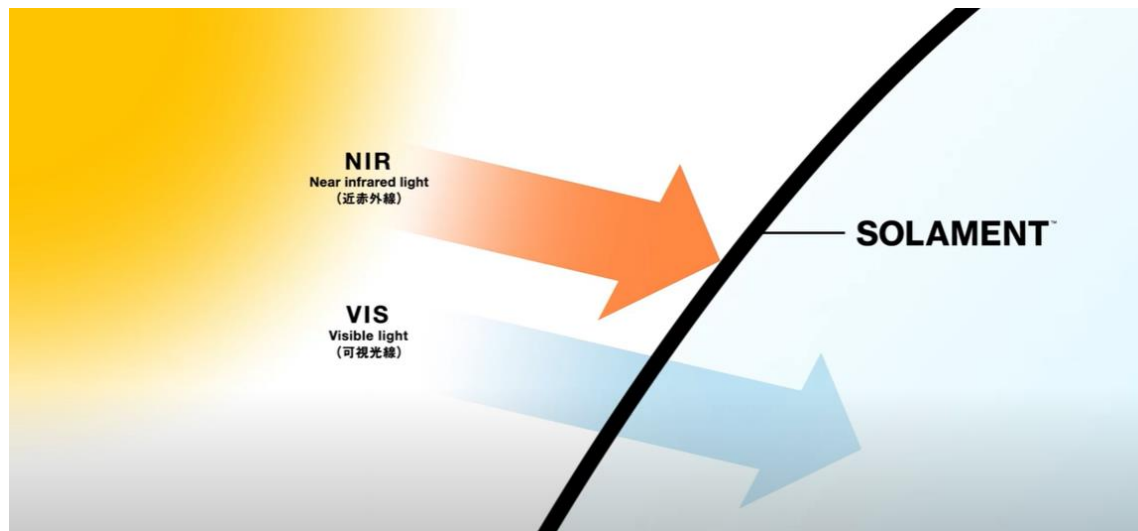
1. 住友金属鉱山が手掛ける素材テクノロジー「SOLAMENT」



「SOLAMENT」は、太陽を意味する「Solar」と、素材を意味する「Element」を組み合わせた言葉です。日本語の「空（ソラ）」も言葉に込めて、空の下でさらに機能を発揮する素材であることを表現しています。また、ロゴは太陽光と原材料の六角形の結晶をモチーフにしたものに、コラボレーションを意味する X を重ね、可能性の広がり表現しています。

SOLAMENT は高い機能性を持つだけでなく、それまで必要だった素材や材料を省略することが可能なため、サプライチェーン全体の効率化や、リサイクルのしやすさの効果も期待できます。プロトタイプはファッションデザイナーの津村耕佑氏がデザイン監修をしています。

「SOLAMENT」紹介ウェブサイト：<https://crossmining.smm.co.jp/solament/>



SOLAMENT がもたらす遮熱効果のイメージ

2. 実証実験の結果

今回 SXSU で展示するプロトタイプと同様の条件で、擬似太陽光を 1 分間照射し SOLAMENT が練りこまれた繊維と通常の繊維を比べたところ、遮熱では温度差マイナス 10℃、発熱では温度差プラス 27℃となりました。

以上

<本件に関するお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705